



Title	WHOニュース 2月/3月/4月
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2022, 81, p. 24-29
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/89677
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2 月

February

パンデミック時の母子・新生児・思春期・高齢者向けサービス：19 カ国から得られた教訓

主要な緩和策や得られた教訓などの情報がまとめられたもの。

COVID-19 対応で膨大な医療廃棄物：管理システムの改善が急務
数万トンの医療廃棄物が医療廃棄物管理システムに多大な負担をかけ、人と環境の健康を脅かしている。

睡眠病：撲滅に向けて努力の継続
症例は、2019 年の 992 件から 2020 年には 663 件に。

WHO / ILO：テレワーク労働者の健康を守る

テレワーク中の労働者の健康を保護するための対策を呼びかけ。

インフォデミックを学ぶオンラインコース

新しいコース「Infodemic Management 101」が利用可能に。

インフルエンザ監視対応システム (GISRS) 70 周年

世界対がんデー「がん医療のギャップを埋めよう」

がんは世界の主要な死因の一つであり、

その疾病負担は増大する一方。2021 年推定 2000 万人ががんと診断され、1000 万人が死亡。

英連邦と WHO：幅広い保健分野での協力関係を強化

幅広い公衆衛生問題についての協力を強化することを約束する覚書に調印。

パンデミックで必須医療サービスの混乱が続く

パンデミックから 2 年が経過した現在も、調査対象国の 90 % 以上で継続的な混乱が報告。

女性器切除の予防とケアのためのトレーニングツール

WHO と HRP は、2 つの新しいツールを発表。

21 世紀の健康課題：公衆衛生の必須機能はギャップを埋めるか (ディスカッションペーパー)

持続可能な保健システムの強化を支援するために、「必須公衆衛生機能」(EPHF) が再評価されている。

寄付という WHO への貢献：保健サービスの維持と運営

寄付は、重要な保健サービスを維持しながら COVID-19 と闘うために、WHO が各国を支援していることに貢献している。

髄膜炎の撲滅に向け進捗を確認

第 150 回 WHO 執行情事会で、「予防接種アジェンダ 2030」および「髄膜炎撲滅に関する感染予防制御とグローバルロードマップ」に関する討議を実施。

食品広告と不健康な食生活には関連がある

食品広告の頻度や接触の程度と、広告された食品や健康的でない食品の習慣的な消費との間に正の相関。

パンデミックの不公平解消に 230 億米ドルの拠出が必要

ACT アクセラレーターの活動に資金を提供するために、160 億米ドルの資金と配送費用 68 億米ドルが緊急に必要。

SEARO と WPRO：ワクチン現地生産ワークショップ開催

感染症流行対策イノベーション連合の技術支援を得て、両地域におけるワクチン現地生産能力・環境整備のための WS を開催。

人工知能 (AI) 技術と高齢者の利益
エイジズムを悪化させたり導入したりするリスクを最小限に抑えるために使用できる法的、非法的、技術的手段を紹介。

フランスと COVID-19 対策に向けた保健システム強化のための新協定に署名

仏政府と WHO は、5000 万ユーロの新たな拠出協定を発表。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているもので、詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



新しい国際疾病分類 (ICD-11) 発効

WHO の国際疾病分類第 11 版が発効し、11 日よりオンライン公開。

アフリカ大陸自立のために mRNA ワクチン技術移転の構想

南アフリカで WHO のグローバル mRNA ワクチン技術移転ハブの構築へ。

生涯にわたる「性の健康」を再定義

ICD-11 で、初めて「性の健康」の章が設置。

ブータンの自殺予防対策の取組み

「国民総幸福量」を導入したブータンでは、自殺が死因の 6 番目。

WHO : 中低所得国に向けた医薬品承認促進戦略と実績

中低所得国や資源に乏しい国における医薬品の承認のための協調的な薬事戦略の開発を長年にわたって追求。

WHO と WFP : 迅速展開する感染治療センター

INITIATE2 を立ち上げ、迅速に配備可能な感染症治療センターを最初のプロジェクトとして実施。

HIV 感染リスクと長時間作用型注射剤カボテグラビルの予防的提供

に関する新しいガイダンスの策定
ガイドライン開発グループのメンバーが公開。

WHO と EIB : アフリカの保健システム強化に 5 億ユーロ

健康関連の SDGs を達成できるよう 10 億ユーロの新規投資を実行することを目的として、5 億ユーロを用意したことを発表。

アフリカ 6 か国で mRNA ワクチン生産へ

アフリカ大陸で mRNA ワクチンの製造に必要な技術を受け取る最初の 6 か国を発表。

WHO ; マラリア推奨事項をガイドラインとして統合

マラリアに関する WHO の最新の勧告を、使いやすく、閲覧しやすい形でオンライン上にまとめたもの。

性と生殖に関する健康と権利 : 夢ある仕事を振り返る

Ian Askew 氏は、国連特別計画 (HRP)、WHO の性と生殖に関する健康研究 (SRH) 部門のディレクターを退任。彼は自身の 40 年間にわたる経歴を振り返り、また、次の 50 年に向けての期待を述べている。

粉ミルク製品のマーケティング攻勢にさらされる新米母親と妊婦 - WHO, UNICEF

550 億ドルの規模を誇る粉ミルク産業界が、組織的かつ非倫理的なマーケティング戦略を行っている。

女性の 27 % がパートナーから暴力・性被害

15 ~ 49 歳の結婚歴のある女性の 27 % が、生涯において身体的または性的、あるいはその両方の暴力をパートナーから受けていると推定。

WHO / ILO : 医療従事者の安全衛生を強化するガイド

強力な労働安全衛生プログラムを開発・実施するための新しいガイドを発表。

WHO : 韓国にバイオ医薬品製造トレーニングハブ設立

バイオ医薬品の製造を希望するすべての低・中所得国のために、バイオ製造トレーニングハブを設立することを発表。

デジタル情報企業の責任 : 信頼できる情報源の原則順守へ

WHO と米国医学アカデミーは、ソーシャルメディア企業などに対し、信頼できる健康情報源を特定するためのグローバル原則を適用するよう要請。

COVID-19 研究とイノベーション - パンデミック対策の原動力 - 現在そして未来へ (報告書)

膨大な研究努力にスポットライトを当て、成功例だけでなく、「エンデミック」の状態に移行するための優先的研究課題とこれまでに得られた教訓についても詳述。

2月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・がん ・女性性器切除 ・メジナ虫症 ・新生児死亡率 ・5歳未満の死亡率 ・年長の子供と若い青年期の死亡率 (5~14歳) ・条虫症・囊虫症 ・アフリカ・トリパノソーマ症(睡眠病) ・年長の青年 (15~19歳) および若年成人 (20~24歳) の死亡率 ・てんかん ・単純ヘルペス ・子宮頸がん

3 月

March

パンデミックから学ぶもの：テドロス事務局長

新たな協定の必要性などについて講演。

3月1日：差別ゼロの日

すべての人が尊厳を持って健康で充実し、生産的な生活を送る権利を強調。

公衆衛生および社会的な緊急措置に関する WHO 技術協議（報告書）

緊急時の公衆衛生・社会行動措置（PHSM）に関する国際技術協議を開催。

小児に必要な医薬品の開発と普及 GAP-f 戦略 2022-203 を発表。

ドイツが“公正な負担”の実行：12 億ドルを寄付

ドイツは、ACT-Accelerator の 2021 / 22 年度予算の「公正な負担」を約束した最初の国として、12.2 億米ドルを寄付。

世界保健デー 2022：Our planet, our health

2022 年の世界保健デーのテーマは『Our planet, our health』（※私たちの地球、私たちの健康（日本 WHO 協会仮訳））。

WHO：難聴とリスク低減の国際基準

難聴リスクを低減する 6 つの国際基準を発表。

パンデミックで不安やうつ病が 25 % 増加

パンデミックの最初の 1 年間に、不安とうつ病の有病率が世界で 25 % 増と WHO が報告。

抗菌剤関連廃棄物による環境汚染に警鐘

環境に流入する抗菌薬廃棄物の量の削減を呼びかけ。

難民と移民の健康に対する課題

各国は難民や移民に配慮した医療サービスを提供する義務がある。

変化が必要な 5 つの分野

変化が必要な 5 つの分野としてプライマリヘルスケアやワンヘルスなどを説明。

WHO：増え続ける都市生活者と健康

世界人口の 55 % 以上が都市部に住んでおり、その割合は 2050 年までに 68 % に増加すると予想。

野生動物のコロナウイルス伝播に関する共同声明

国連食料農業機関（FAO）、国際獣疫事務局（OIE）および WHO は、変種出現のリスクを低減し、ヒトと野生生物の間の伝播のリスクを低減する措置をとるよう呼びかけ。

Health for All：経済活動の価値観を再考する

評議会は、Health for All の基礎となる地球環境、健康とウェルビーイング、多様な社会基盤と公平性の 3 つの価値を提案。

中絶を安全なものとするためのガイドライン

現在年間 2500 万件以上とされる危険な中絶を防止するために、新しいガイドラインを発表。

パンデミック対策サミット：WHO 事務局長基調講演

3 月 8 日にロンドンで世界パンデミック対策サミットが開催。

公衆衛生：これからの 20 年のトレンド

これからの 20 年間にグローバルヘルスに大きな影響を与えるだろう 15 の新技術および科学の進歩を紹介。

パンデミック対策：政府間交渉機関が初会合

パンデミックの予防、準備、対応に関する WHO 条約、協定、その他の国際文書の起草と交渉のための政府間交渉機関（INB：Intergovernmental Negotiating Body）の初会合が 14 日から開始。

WHO が中国 IT 企業と協力：パンデミック時の情報提供

誤報や偽の情報に対抗するためのメンタルヘルスのヒントを提供。

注）本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているもので、詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



結核撲滅の西太平洋地域枠組み： 2021 – 2030 年

『西太平洋地域結核対策枠組み (2021 – 2030)』を発表。

世界結核デー：医療、研究の投資拡大
2020 年には、10 年以上ぶりに結核による死亡者数が増加。

映画：ヘルスケアの変革者の物語
ヘルスケアの領域に影響を与え、健康状態を改善することに成功した多くの方法を紹介。

「ワンヘルス」アプローチ：こ れからの公衆衛生

人獣共通感染症の脅威への対応には、学際的かつ多角的な連携が必要。

飲料水のガイドライン第 4 版

第 4 版は、公衆衛生を支える水の安全性に関する国の規制や、基準設定のための信頼できる基礎となるもの。

インフルエンザによるパンデミックの事前対策とパートナーの貢献
インフルエンザによるパンデミックに対する事前対策枠組み (PIP) において、他のパートナーシップの投資と共同で行われた場合の公衆衛生に対する貢献を紹介。

飲酒と社会経済的不平等のパラ ドックス

飲酒は、社会経済的な地位が低い人ほど、

その地位に釣り合いで不公平な影響を受けている。

世界水の日：地下水にもっと注目を
地下水は、世界中の家庭で使われる水の半分、灌漑農業に使われる水の 4 分の 1、工業に必要な水供給の 3 分の 1 を供給している。

難聴

何百万人もの人々が難聴を患っており、その人々の大半は適切な耳や聴覚の医療を受けることができない低所得国に住んでいる。

出産の体験に学ぶケアの向上

BMJ Global Health は、出産施設におけるケアを改善する道を提示。

EU と WHO：アフリカの保健医療の普及改善に協力

EU から WHO へ 2,450 万ユーロを拠出。

国連の世界の水・衛生の解析評価をオンライン化

国連の水のグローバル解析および衛生および飲料水の評価が <https://glaas.who.int> でオンライン化。

WHO の条約締結：国際化プロセスをスケジュール化

パンデミックの予防、準備、対応に関して WHO が締結する条約、協定、その他の国際文書の起草と交渉のための政府

間交渉機関 (INB) の第 1 回会合が開催。2024 年 5 月の世界保健総会で審議するまでのスケジュールを提示。

その他にも以下の項目がありました。

- シンガポールが医薬品規制当局分類で最高の成熟度に到達
- ニュージーランドと WHO：パートナーシップを再確認
- 薬剤耐性 (AMR)：計画実行のためのハンドブック
- WHO 治療ガイドラインにモルヌビラビルを追加
- 史上初のマラリアワクチンを推奨：マラリア対策ガイドラインに掲載
- 2022 年世界肥満デー：予防の理想は母乳育児から
- WHO 漢方国際標準用語集
- 2022 年世界食品安全の日の意義とガイドライン
- ウクライナと周辺隣国：WHO 緊急アピール
- WHO: 世界保健施設データベースを立上げ
- ポリオ、依然として公衆衛生上の緊急事態
- ウクライナの医療施設への攻撃中止を：ユニセフ、国連人口基金、WHO
- WHO：長期介護のあたらしい考え方
- WHO：ウクライナの医療支援活動
- WHO：インドに「伝統医学グローバルセンター」を設立
- オランダと WHO：保健と人権のためのパートナーシップ

3月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・先天性欠損症
- ・統合失調症
- ・トラコーマ
- ・単純ヘルペス
- ・口腔保健
- ・緊急時のメンタルヘルス
- ・リンパ系フィラリア症

4 月

April

列国議会同盟 IPU、女性、子ども、青少年の健康増進について議論

IPU 総会で、「特に女性、子ども、青少年の健康増進に焦点を当て、健康の公平性の重要性に明るい光を当てること」を採択。

マラリア・ガイドライン

マラリアに関する WHO の最新の勧告を、使いやすく、閲覧しやすい「オンライン・プラットフォーム」に集約。

何十億人もの人々が不健康な空気を吸っている：WHO の新しいデータ
世界のほぼ全人口 (99%) が大気質基準値を超える空気を吸っており健康を脅かしている。

グローバル・アルボウイルス・イニシアチブ立上げ

節足動物が媒介するウイルス (アルボウイルス) は、約 39 億人が暮らす熱帯・亜熱帯地域において公衆衛生の脅威。

WHO：結核感染診断のための新しい結核抗原を用いた皮膚テストに関する最新情報を発表

世界人口の 4 分の 1 以上が結核に感染していると推定。

プライマリーヘルスケア：医療システム、コミュニティ、そして地球

私たちの存在は地球の恩恵に依存しているが、それらを使い果たす危険な状態にある。

WHO、人々の健康を守り、気候危機と闘うための行動の加速を呼びかけ

世界保健デーキャンペーンの一環として、健康の維持・保護と気候危機の緩和に向けた指導者とすべての人々の行動を加速するよう緊急に呼びかけ。

ウクライナ：医療への攻撃 100 件超
2 月 24 日の戦争開始以来、73 人の命が奪われ、51 人が負傷。

薬剤耐性に関する国際機関の戦略的枠組み

WHO、国連食糧農業機関、国際獣疫事務局、国連環境計画は、薬剤耐性 (AMR) に関する連携のための戦略的枠組みを策定。

紛争、気候危機、COVID：世界は“健康のための平和、平和のための健康”を必要としている

テドロス事務局長が、「健康のための平和、平和のための健康」という新しいグローバル・イニシアチブを発表。

COVID-19 パンデミックに関する国際保健規約 (IHR) 緊急委員会第 11 回会合の声明

COVID-19 のパンデミックは引き続き PHEIC (国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態) に該当すると判断。

医療システムのパフォーマンス評価
医療政策の立案と改革には、何よりもまず、医療制度がどのように機能しているかを正しく理解することが必要であり、それらの評価領域 (対象) を概説し、実行に導く。

グローバル糖尿病コンパクト：初年度の成果

「高価格、ヒト型インスリンの入手難、インスリン市場を支配する少数の生産者、弱い保健制度」が普遍的アクセスを阻む主要な要因であることを明らかにした。

倫理と医療用放射線画像：医療従事者のためのポリシーブリーフ

WHO や国際原子力機関 (IAEA)、国際放射線防護委員会 (ICRP) などの国際機関が期待する「患者放射線防護」を実現するために、既存の枠組みを基にした様々な取り組みを提案。

WHO QualityRights：メンタルヘルスに関する e-トレーニング
メンタルヘルスケアの提供に関する意思決定に関わる人々、メンタルヘルスに関する支援を受けていた人々、または現在受けている人々などを対象として開発された。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているもので、詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



G20 首脳の公約実現に向けた公平で効果的な金融仲介基金 (FIF) の構築：パンデミックへの備えと対応 (PPR) のために

「万人のための健康の経済学評議会」と「G20 健康開発パートナーシップ」は、持続可能性、革新性、多年次資金調達等を提言。

WHO の新ガイドライン (公表予告) : HIV 感染者におけるクリプトコックス症の治療をより簡便で安全なものに

望ましい導入療法の一部として、リボソーマル・アムホテリシン B の高用量単回投与を強く推奨。

世界マラリアデー

2020 年には、85 カ国で新たに 2 億 4100 万人のマラリア患者が発生し、62 万 7000 人のマラリア関連死が発生したと推定。死亡者の 3 分の 2 以上は、WHO アフリカ地域に住む 5 歳未満の子どもたち。

WHO : 「西太平洋イノベーションチャレンジ」の受賞者を発表
電気を必要としない水ポンプ、脳卒中をスクリーニングするアプリ、COVID-19 緊急チャットボットなど 29 団体が受

賞。日本からは、カーブジェン株式会社とケイスリー株式会社の 2 社が受賞。

寄付者がもたらす変化：あらゆる世代の人々の命を救うさまざまな予防接種に資金を提供

WHO は、世界中の基金や政府からの寄付により、ポリオ、子宮頸がん、マラリア、コレラ、はしか、COVID-19、腸チフス、その他「危険だが予防できる病気」から人々を守るためのワクチン入手と配布を支援。

その他にも以下の項目がありました。

- WHO、病原体のゲノムサーベイランスに関する 10 年戦略を発表
- WHO、産後の重要な時期に女性と新生児に質の高いケアを行うよう要請
- COVID-19 のための戦略的準備、対応計画を発表
- 自閉症児の介護者向けトレーニングをオンライン化
- 楽天 Viber、世界保健デーキャンペーンで WHO を支援
- 世界シャーガス病デー 2022
- OpenWHO.org に予防接種コース開設
- アフリカ人の 3 分の 2 以上が COVID-19 に感染 (WHO 調査)

- マラリア Vector control (媒介生物制御) の技術革新
- 非感染性疾患と SDGs に関する国際戦略対話 : 「NCDs グローバルコンパクト」発表
- INSPIRE : 子どもへの暴力をなくすための 7 つの戦略 : 2016 年から 2021 年の取り組み状況
- インドで WHO 伝統医学グローバルセンター起工
- 2022 年世界予防接種週間 : Long Life for All
- ファイザーの経口抗ウイルス剤「パキロピット」を、軽症患者らのうち、重症化しやすいワクチン未接種者・高齢者・免疫不全患者らに強く推奨
- 100 万人以上のアフリカの子どもたちを初のマラリアワクチンで保護
- 非感染性疾患のための多部門行動計画策定のためのツールキット : 概要
- 高齢者のための統合ケア : 新しい報告書を発表
- WASH FIT : 医療施設における水と衛生設備を通じてケアの質を向上させるための実践ガイド (第 2 版)
- ACT アクセラレーター : 2 年間のインパクトレポート

4月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・看護と助産 ・衛生設備 ・飲料水 ・コレラ ・マラリア ・シャーガス病